

富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第54回)

(1) 企業の部

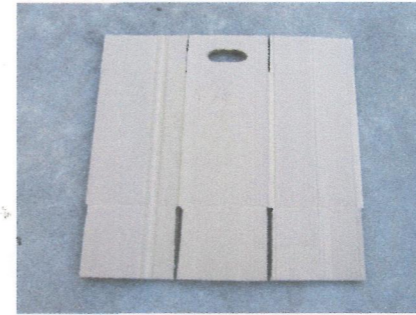
(2) 一般の部

受付
番号

2

ふりがな	もちほこびがよいなごみとうにゅうようつつ			
作品の名称	持ち運びが容易なごみ投入用筒			
ふりがな		ふりがな	せいもと たかはる	
会社名		発明者名	清本孝治	
特許・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願	出願・公開番号	登録番号	外国特許他
	<input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	実願 2014-000751	第 3191302 号	
<p>本作品は、雑草、樹木剪定枝葉、その他可燃ごみを収集袋に入れる際に、投入を容易にする補助用具である。</p> <p>従来、ごみ袋にごみを入れる際に、ごみ袋を片手または両手で保持しながら行っているのが通常であり、作業がしにくく、効率が悪い。</p> <p>また、樹木の枝等を投入した場合、枝先でごみ袋に穴が開いたり、亀裂したりして破損する場合があります。</p> <p>さらに、ごみを詰め込もうと上から押し込むとごみ袋がつぶれたり、破れが生じたりして、十分に詰め込むことができなかった。</p> <p>本作品は、これらの問題を解決するため作成したものである。</p> <p>最大の特徴は、ごみ袋の中に投入用筒を挿入するものであり、従来よく見られた類似品(容器や筒状のものの中にごみ袋を入れる方法)とは逆の発想により考案したものである。</p> <p>大きさは、折り畳んだ状態で縦50cm、横60cm、厚さは2cm程度である。</p> <p>出展作品はダンボールを使用した見本であるが、完成品の材料は板状の合成樹脂又は板状の紙の表面をコーティング加工したもの等を用い、耐久性と防水性を持たせる。</p> <p>従って、一般家庭はもちろん大量のごみ収集を行う関係者の労力を確実に軽減することが出来る作品である。</p>				

◎ごみ投入用筒の説明



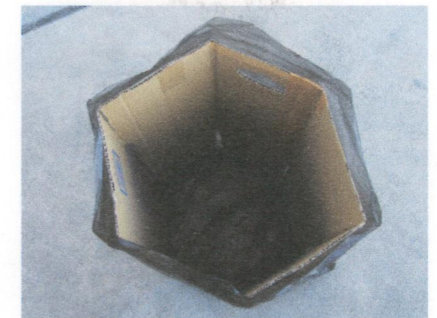
①ごみ投入用筒を折り畳んだ状況
※ごみ袋は、収集用標準サイズ
(65cm×80cm)を使用。



②ごみ袋にごみ投入用筒を差し込んだ状況



③ごみ袋の自立状況

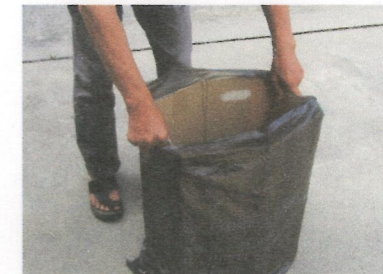


④上から見た状況(袋の内側に筒がある
るのでごみを詰め込みやすい)

◎ごみ投入用筒の使用手順



①筒をごみ袋に差し込む



②筒を広げ、ごみ袋を立てる



③ごみを詰め込む

足でごみを踏み込んだり、
多少の枝等があっても破れ
ない



④筒をごみ袋から引き抜く
ごみ袋の口を結び終了